

総合評価方式について

平成29年9月 福島県入札監理課

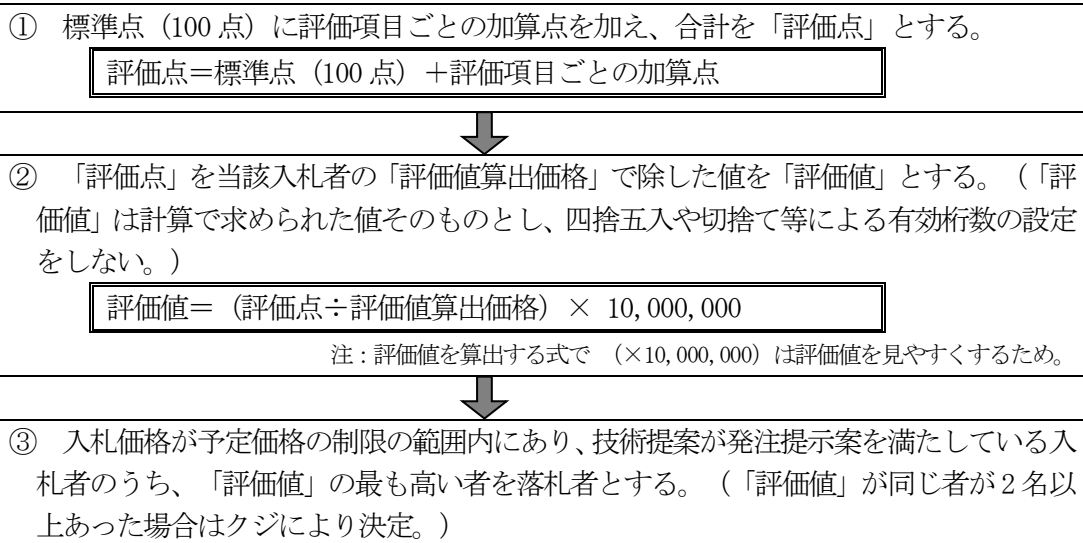
1 総合評価方式とは

価格のみの競争において、公共事業費の減少に伴う競争の激化により低価格入札が増加し、その弊害として、手抜き工事、下請けへのしわ寄せ、安全対策の手抜き等が見られるようになったこと等を背景として平成17年4月1日に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」において、総合評価方式の取組みが求められています。

総合評価方式とは、入札参加者に技術提案を求め、技術力と価格を総合的に評価して落札者を決定する調達方式です。

2 落札者の決定方法（総合評価の方法）

総合評価の方法は、次のとおりです。



入札価格が、評価基準価格^{※2}を下回る入札参加者の評価値算出価格は評価基準価格とし、入札価格が評価基準価格以上の入札参加者の評価値算出価格は入札価格とします。

入札価格 ≥ 評価基準価格の場合、評価値算出価格 = 入札価格
 入札価格 < 評価基準価格の場合、評価値算出価格 = 評価基準価格

※2 評価基準価格（非公表）は、予定価格算出の基礎となった積算を基に工事執行権者が設定。

《評価値計算例》

	A社	B社	C社
加算点	8	5	4
評価点（標準点+加算点）	108	105	104
入札額	87,000千円	90,000千円	80,000千円
◆評価基準価格◆	85,000千円		
評価値算出価格	87,000千円	90,000千円	85,000千円
評価値（評価点/評価値算出価格）	12.4137	11.6666	12.2352
評価順位	1位	3位	2位

注：評価値は有効桁数を設けませんが、便宜上、表示は小数点4位までとします。

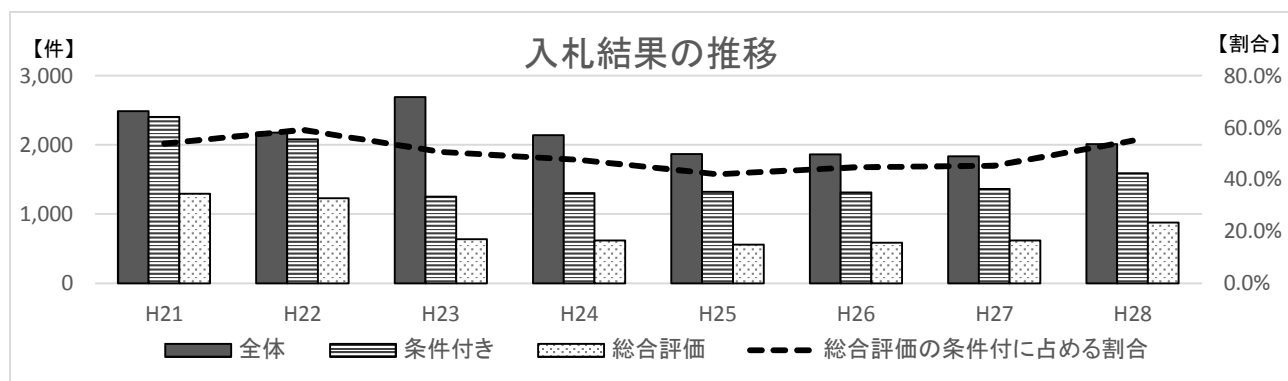
工事の総合評価方式の評価項目及び配点（加算点）

評価項目及び配点	標準型	簡易型	特別簡易型 (復旧型・復興型)	備考
適用設計金額	5億円以上～ 24億7千万円 未満	1億円以上～ 5億円未満	1億円未満	復旧型は3千万円以上～5億円未満 復興型は1億円以上～5億円未満
① 企業の技術力	4.0	4.0	3.5	
施工能力				同種類似工事の実績
過去5年以内の実績	1.0	1.0	2.0	
過去5年より前で10年以内	—	—	1.5	
過去10年より前で15年以内	—	—	0.5	
工事成績				標準型、簡易型：同種類似工事 の成績 特別簡易型：同一発注別工事 の直近の成績
80点以上	1.0	1.0	1.5	
75点以上 80点未満	—	—	1.0	
優良工事（過去10年以内）	1.0	1.0	—	該当部門の表彰実績
品質管理	0.5	0.5	—	ISO9001 認証取得
技術者確保数	0.5	0.5	—	配置可能技術者
(技能士の活用（技能士職種ごと）)	(0.5)	(0.5)	—	※上で得点できないとき
② 配置予定技術者の技術力	3.5	3.5	1.0	
資格保有	0.5	0.5	—	指定した資格保有
(継続教育)	(0.5)	(0.5)	—	※上で得点できないとき
施工能力（過去10年以内の実績）	1.0	1.0	0.5	同種類似工事の実績
工事成績（過去4年以内の実績）	1.0	1.0	0.5	同種類似工事の成績
優良工事	1.0	1.0	—	該当部門の表彰実績
③ 企業の地域社会に対する貢献度	18.5(19.0)	18.5(19.0)	6.0(6.25)	()は一般土木又は舗装
障がい者雇用	0.5	0.5	—	法定雇用達成等
安全管理	0.5	0.5	—	安全管理表彰受賞
環境配慮	0.5	0.5	—	ISO14001 認証取得
県内業者活用	1.5	1.5	—	下請、資材の活用
働く女性応援	0.5	0.5	—	認証取得
仕事と生活の調和	0.5	0.5	—	認証取得
新分野進出	1.0	1.0	—	H13.4.1以降進出（継続中のもの。）
同一市町村内工事实績	2.5	2.5	1.0	
一般土木工事又は 舗装工事	過去3年以内に3件以上	2.5	1.0	
	過去3年以内に2件	1.5	0.5	
その他の発注種別	過去10年以内に1件	2.5	1.0	
入札参加者の所在地				地域要件毎の評価基準設定
評価対象区域内で工事箇所と同一市町村	3.0	3.0	1.5	
上記以外の評価対象区域内	2.0	2.0	0.5	
ボランティア活動（過去3年継続）	2.0	2.0	0.5	※選択項目については、入 札参加者が、一般土木工事 又は舗装工事の場合は①～ ④から、それ以外の工事の 場合は①～③から2項目を 選択する。
消防団加入（1名以上）	1.0	1.0	0.5	
①災害時出動実績又は災害応援協定締結実績	2.5	2.5	1.25	
②新卒・離職者の雇用実績 ★				
2名以上の実績	2.5	2.5	1.25	
1名以上の実績	1.5	1.5	0.75	
③雇用の維持・確保 ★				
1名以上増加	2.5	2.5	1.25	★ 東日本大震災による被 災者等の雇用実績、雇用の 維持確保についても評価の 対象とする
同数	1.5	1.5	0.75	
④除雪・維持補修業務の実績				
下記実績に加え過去5年度以内に感 謝状を受けた実績又は直前の5年度 間連続した除雪の実績	3.0	3.0	1.5	
過去3年以内に1件以上の実績	2.5	2.5	1.25	
④ 施工計画適切性	10.0	10.0	—	
施工計画	10.0	10.0	—	
⑤ 技術提案	20又は40			
加算点合計	56.0又は76.0 (56.5又は76.5)	36.0 (36.5)	10.5 (10.75)	()は一般土木又は舗装工事の場合

総合評価方式における価格逆転について

平成 29 年 6 月 26 日
福島県入札監理課

1. 入札結果の推移(全体)

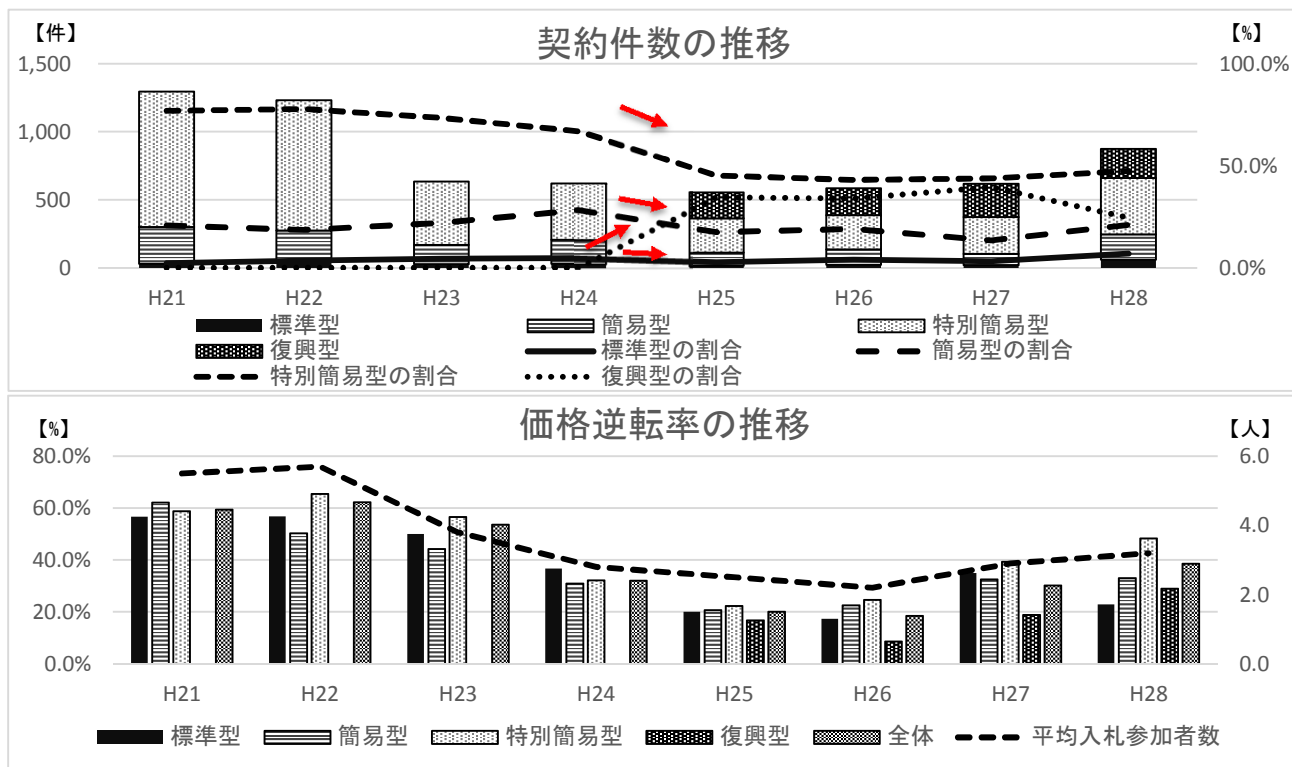


	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全体	2,485	2,176	2,688	2,141	1,868	1,863	1,834	2,009
条件付一般競争	2,404	2,080	1,253	1,300	1,320	1,309	1,362	1,590
全体に占める割合	96.7%	95.6%	46.6%	60.7%	70.7%	70.3%	74.3%	79.1%
条件付一般競争のうち総合評価方式	1,293	1,230	635	618	555	585	617	874
条件付に占める割合	53.8%	59.1%	50.7%	47.5%	42.0%	44.7%	45.3%	55.0%

<コメント>

- 条件付一般競争入札に占める総合評価の割合は、震災(H23)以降減少したが、H26以降は増加し、H28で震災前(H22)の水準に戻った。

2. 総合評価方式による契約状況



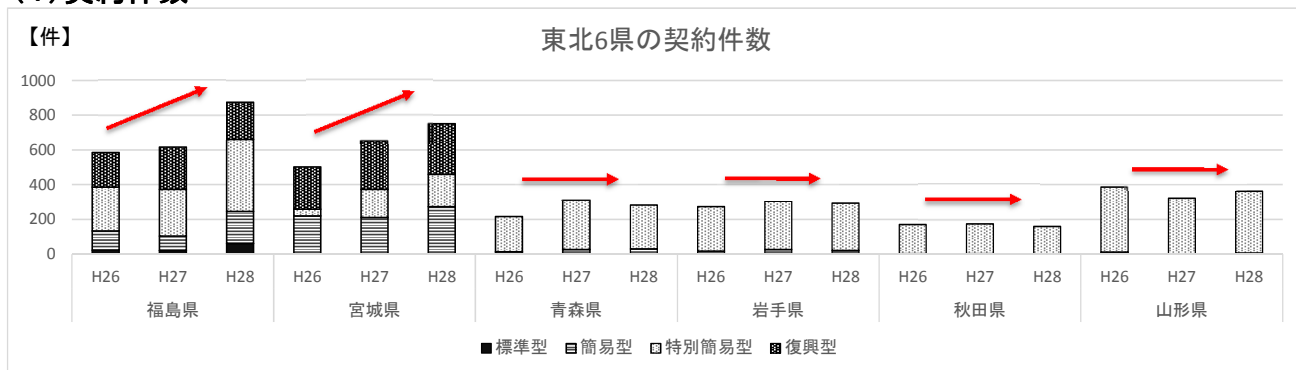
総合評価の類型		契約件数							
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
標準型	契約件数	30	44	28	30	15	23	20	61
	総合評価に占める割合	2.3%	3.6%	4.4%	4.8%	2.7%	3.9%	3.2%	7.0%
	価格逆転件数	17	25	14	11	3	4	7	14
	価格逆転率(=価格逆転件数/契約件数)	56.7%	56.8%	50.0%	36.7%	20.0%	17.4%	35.0%	23.0%
簡易型	契約件数	269	229	140	175	97	111	83	185
	総合評価に占める割合	20.8%	18.6%	22.0%	28.3%	17.5%	19.0%	13.5%	21.2%
	価格逆転件数	167	115	62	54	20	25	27	61
	価格逆転率(=価格逆転件数/契約件数)	62.1%	50.2%	44.3%	30.9%	20.6%	22.5%	32.5%	33.0%
特別簡易型	契約件数	997	959	467	414	251	252	270	414
	総合評価に占める割合	76.9%	77.8%	73.5%	66.9%	45.2%	43.1%	43.8%	47.4%
	価格逆転件数	586	627	264	133	56	62	106	200
	価格逆転率(=価格逆転件数/契約件数)	58.8%	65.4%	56.5%	32.1%	22.3%	24.6%	39.3%	48.3%
復興型	契約件数					192	199	244	214
	総合評価に占める割合					34.6%	34.0%	39.5%	24.5%
	価格逆転件数					32	17	46	62
	価格逆転率(=価格逆転件数/契約件数)					16.7%	8.5%	18.9%	29.0%
合計	契約件数	1,296	1,232	635	619	555	585	617	874
	価格逆転件数	770	767	340	198	111	108	186	337
	価格逆転率(=価格逆転件数/契約件数)	59.4%	62.3%	53.5%	32.0%	20.0%	18.5%	30.1%	38.6%
平均入札参加者数		5.5	5.7	3.8	2.8	2.5	2.2	2.9	3.2

<コメント>

- 総合評価全体に占める件数割合は、標準型は概ね2~7%で変動、簡易型は13~28%で変動、特別簡易型はH21~H24は概ね70%台、H25以降は40%台で推移している。
⇒いずれの類型も、H25以降、復興型が創設されたことに伴い、一部が復興型に移行したものと推測。
- 価格逆転率は、H23→H26で減少し、H26→H28で増加傾向にある。(契約件数及び平均入札参加者数の推移に概ね比例)
- 価格逆転率のピークは、標準型がH27で35.0%、簡易型がH28で33.0%、特別簡易型がH28で48.3%、復興型がH28で29.0%。

3. 東北6県における総合評価方式の状況

(1) 契約件数



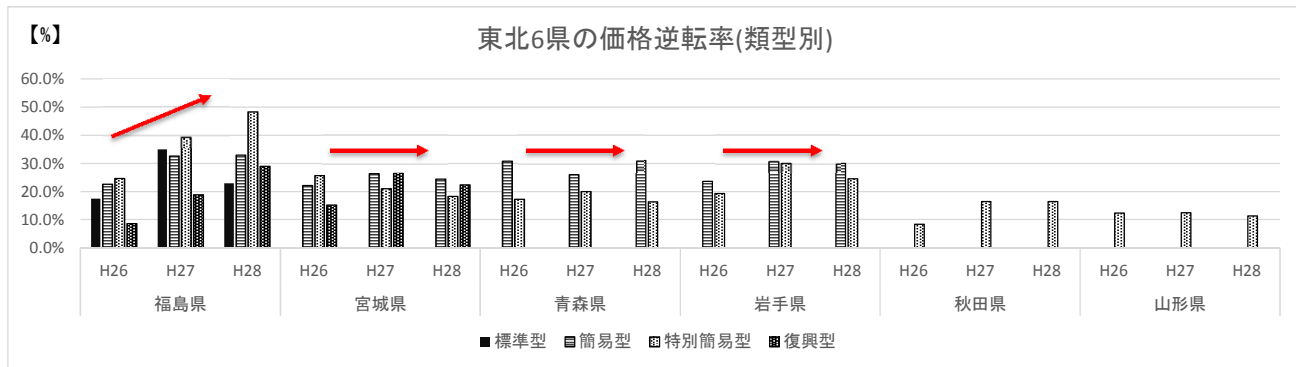
総合評価の類型		福島県			宮城県			青森県			岩手県			秋田県			山形県		
		H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
標準型	件数	23	20	61	2	2	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	4	0	2
	割合	3.9%	3.2%	7.0%	0.4%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	1.0%	0.0%	0.6%
簡易型	件数	111	83	185	217	209	271	13	27	29	17	26	20	2	1	1	8	0	4
	割合	19.0%	13.5%	21.2%	43.2%	32.0%	36.1%	6.0%	8.7%	10.3%	6.2%	8.6%	6.8%	1.2%	0.6%	0.6%	2.1%	0.0%	1.1%
特別簡易型	件数	252	270	414	39	162	187	203	285	252	255	278	274	168	171	158	374	322	356
	割合	43.1%	43.8%	47.4%	7.8%	24.8%	24.9%	94.0%	91.3%	89.4%	93.4%	91.4%	93.2%	98.8%	98.8%	99.4%	96.9%	100.0%	98.3%
復興型	件数	199	244	214	244	280	291												
	割合	34.0%	39.5%	24.5%	48.6%	42.9%	38.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	件数	585	617	874	502	653	751	216	312	282	273	304	294	170	173	159	386	322	362

：福島県に対して、件数が少ないため、比較対象外。

<コメント>

- 契約件数は、福島県は宮城県と同程度であり、両県とも増加傾向にある。

(2) 価格逆転の状況



総合評価の類型		福島県			宮城県			青森県			岩手県			秋田県			山形県		
		H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
標準型	件数	4	7	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1
	価格逆転率	17.4%	35.0%	23.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
簡易型	件数	25	27	61	48	55	66	4	7	9	4	8	6	0	0	1	0	0	2
	価格逆転率	22.5%	32.5%	33.0%	22.1%	26.3%	24.4%	30.8%	25.9%	31.0%	23.5%	30.8%	30.0%	-	-	-	-	-	-
特別簡易型	件数	62	106	200	10	34	34	35	57	41	49	84	67	14	28	26	46	40	40
	価格逆転率	24.6%	39.3%	48.3%	25.6%	21.0%	18.2%	17.2%	20.0%	16.3%	19.2%	30.2%	24.5%	8.3%	16.4%	16.5%	12.3%	12.4%	11.2%
復興型	件数	17	46	62	37	75	65												
	価格逆転率	8.5%	18.9%	29.0%	15.2%	26.8%	22.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	件数	108	186	337	97	164	165	39	64	50	53	92	73	14	28	27	48	40	43
	価格逆転率	18.5%	30.1%	38.6%	19.3%	25.1%	22.0%	18.1%	20.5%	17.7%	19.4%	30.3%	24.8%	8.2%	16.2%	17.0%	12.4%	12.4%	11.9%

※価格逆転率=価格逆転件数/契約件数

：福島県に対して、件数が少ないため、比較対象外。

<コメント>

- 価格逆転率は、H28全体で宮城県に比べ16%高い。類型別では、福島県は、いずれも増加傾向にあり、標準型以外はH28がピーク。一方、宮城県は、いずれの類型も概ね20%台で推移し、ピークがH26・H27。その他の県については、概ね横ばいで推移。

【参考】金額区分

総合評価 の類型	福島県			宮城県			青森県			岩手県			秋田県			山形県		
	2億円	～		1億円	～	5億円	4億円	～		1千万円	～		4千万円	～		3億円	～	
標準型※1				1億円	～	5億円	4億円	～		1千万円	～		4千万円	～		3億円	～	
簡易型※2	5千万円	～	2億円	1億円 5千万円	～	3億円 1億円	1億円	～	4億円	1千万円	～		4千万円	～		1億円	～	3億円
特別簡易型※3	3千万円	～	5千万円	250万円 250万円	～	5千万円 5億円	5千万円	～	1億円	1千万円	～		4千万円	～		1千万円	～	1億円
復興型	5千万円	～	2億円															

※1 各県の名称は以下のとおり。秋田県：技術提案型。

※2 各県の名称は以下のとおり。青森県：簡易型I、岩手県：簡易1型、秋田県：施工計画型、山形県：簡易I型。

※3 各県の名称は以下のとおり。青森県：簡易型II、岩手県：簡易2型、秋田県：簡易型、山形県：簡易II型。

※4 宮城県については、標準型(技術提案型)を標準型、標準型(施工計画型)と簡易型(施工計画型)を簡易型、簡易型(実績重視型)を特別簡易型、特別簡易型(実績重視型)を復興型として集計。高度型については、集計対象外。

